

第63回徳島駅伝 小松島市選手団 総合成績3位!

新春の阿波路で健脚を競う第63回徳島駅伝が1月4日から6日までの3日間の日程で開催され、16都市の代表チームが43区間265.3kmにわたり熱戦を繰り広げました。

西川誉監督率いる小松島市チームは、福島太郎主将をはじめ選手一丸となってたすきをつなぎ結果、総合成績で3位となり、銅メダルの栄冠に輝きました。

また個人としては、大会最長区(14.4km)を区間賞で制した大西亮さんが3年連続の最優秀競技者賞(MVP)を受賞されました。

大会史上初めて設けられた小学生特別区間(板野西部消防署前から上板町役場前までの2区間計3km)では、小学生ランナーが力走し、沿道を沸かせました。皆さまの温かいご声援ありがとうございました。



ゴールに飛び込む小松島市のアンカー中原友雅さん



大会終了後、喜び合う小松島市選手団の選手たち



小学生特別区間の中継地点で丸岡蒼雅さん(南小松島小学6年、写真左)へたすきをつなぐ黒田乙さん(南小松島小学5年、写真右)

みなと海鮮朝市の年末祭 大盛況



アシアカエビの詰め放題に挑戦する子ども

12月30日、小松島みなと交流センター kocolo で「こまつしまみなと海鮮朝市」の年末祭が開催されました。アシアカエビの詰め放題や抽選会が行われたほか、アシアカエビなどが入った海鮮丼やタイ、ハマチ、ブリなどの鮮魚が販売され、年末年始の食材を買い求める大勢の家族連れでにぎわいました。

親子で生演奏を楽しむ



ホルンとピアノの生演奏を間近で聴く親子

子育て中の親子を対象としたミニコンサート「音楽のおくりもの」が12月22日、ミリカホールのリハーサル室で開催され、約50名が参加しました。NHK交響楽団首席ホルン奏者の福川伸陽さんとピアニストの三浦友理枝さんが、クリスマスメドレーなどを披露し、親子らは生演奏を楽しみました。